

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成27年8月13日(2015.8.13)

【公開番号】特開2014-6995(P2014-6995A)

【公開日】平成26年1月16日(2014.1.16)

【年通号数】公開・登録公報2014-002

【出願番号】特願2012-140347(P2012-140347)

【国際特許分類】

F 21S 2/00 (2006.01)

F 21V 19/00 (2006.01)

F 21Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 21S 2/00 231

F 21V 19/00 150

F 21V 19/00 170

F 21Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月29日(2015.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

直管形LEDランプであって、

複数のLED素子が実装されたLED回路を有する2つのLED基板と、

前記直管形LEDランプの一端に設けられた第1口金及び他端に設けられた第2口金と

、  
前記第1口金及び第2口金のそれぞれに備えられ、前記LED基板へ電力供給する直流電源の正極側および負極側に電気的に接続される1対の口金ピンと、

を備え、

前記2つのLED基板のうち一方が前記第1口金の一対の口金ピンと電気的に接続され、他方が前記第2口金の一対の口金ピンと電気的に接続される、ことを特徴とする直管形LEDランプ。

【請求項2】

前記2つのLED回路の一方のLED回路に実装されているLED素子の色温度と、他方のLED回路に実装されているLED素子の色温度とは、互いに異なることを特徴とした請求項1に記載の直管形LEDランプ。

【請求項3】

前記2つのLED回路の間に、電気絶縁部材が配置されていることを特徴とした請求項1または2に記載の直管形LEDランプ。

【請求項4】

透光性材料から成形された前記電気絶縁部材が、

前記LED基板面に設置され、

照射面側に向けて突出していることを特徴とした請求項3に記載の直管形LEDランプ。

【請求項5】

LED駆動電源と、前記口金ピンが装着されるソケットと、を設けたLED照明灯具と、

請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の直管形 L E D ランプと、が備えられた直管形 L E D 照明装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

請求項 1 に記載の発明にあたっては、直管形 L E D ランプであって、複数の L E D 素子が実装された L E D 回路を有する 2 つの L E D 基板と、前記直管形 L E D ランプの一端に設けられた第 1 口金及び他端に設けられた第 2 口金と、前記第 1 口金及び第 2 口金のそれぞれに備えられ、前記 L E D 基板へ電力供給する直流電源の正極側および負極側に電気的に接続される 1 対の口金ピンと、を備え、前記 2 つの L E D 基板のうち一方が前記第 1 口金の一対の口金ピンと電気的に接続され、他方が前記第 2 口金の一対の口金ピンと電気的に接続される、ことを特徴とするものである。